

平成21年11月6日

各位

上場会社名 株式会社 ヤマシナ
 代表者 代表取締役社長 堀 直樹
 (コード番号 5955)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 森嶋 誠一
 (TEL 075-591-2131)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,990	△95	△90	△95	△0.64
今回発表予想(B)	2,197	△126	△120	△126	△0.91
増減額(B-A)	207	△31	△30	△31	
増減率(%)	10.4	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	3,174	△45	△44	△144	△0.94

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,230	△40	△35	△40	△0.27
今回発表予想(B)	1,446	△98	△84	△88	△0.63
増減額(B-A)	216	△58	△49	△48	
増減率(%)	17.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	2,091	△61	△53	△143	△0.94

修正の理由

平成22年3月期第2四半期累計期間の当初におきましては、世界経済の急激な落ち込みにより、自動車及び家電業界等の輸出企業を中心に企業業績が急激に悪化する中、当グループは商品需要の減少による減産を余儀なくされましたが、輸出や生産に持ち直しの動きが見られたことで、第2四半期会計期間より受注が回復し、売上高については見込みを上回り推移いたしました。

しかしながら、不透明な景気動向の中で、金属材料や原油価格の高騰による原価の増加を販売価格へ転嫁することが遅れたため、生産の効率化等の原価低減に努めたものの、利益面においては、当初見込みを下回る結果となりました。

なお、受注は引き続き回復傾向にあり、コスト削減の努力等も結果としてあらわれ始め、第2四半期会計期間より利益面についても大きく改善の兆しが見えているため、通期業績予想につきましては、現時点では変更しておりませんが、今後の動向により修正の必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

以上